

# 平成30年度 釧路管内学校教育研究大会弟子屈大会開催要項

- 1 研究主題 教職員の力量を高め、保護者の信頼に応える「釧路の教育」の創造  
～地域や学校の実態に即した教育実践の改善・充実～
- 2 目的 各町村教育研究所の研究・実態を公開するとともに、その成果と課題について協議し、教職員の力量向上を図り、子ども・保護者・地域住民の信頼に応える釧路の教育の充実に資する。
- 3 主催 釧路教育研究所
- 4 主管 弟子屈町教育研究所
- 5 後援 北海道教育庁釧路教育局／釧路管内町村教育委員会連絡協議会／弟子屈町教育委員会  
釧路校長会／釧路小中学校教頭会／全釧路教職員組合／北海道教職員組合釧路支部
- 6 期日 平成30年10月2日(火)
- 7 会場 ◆ 授業会場 … 弟子屈小学校・川湯小学校  
弟子屈中学校・川湯中学校  
◆ 全体会・各部会 … 弟子屈小学校

## 《 弟子屈町教育研究所 研究主題 》

『自然豊かな大地の中で、生き生きと学ぶ弟子屈っ子の育成』

### 8 日 程

	13:20	13:30	14:20	14:45	15:30	16:40
弟子屈小学校		授業公開(14:15終了)	休憩・移動	開会式 全体発表 (弟子屈小学校体育館)	各部会 研究協議 (弟子屈小学校)	
弟子屈中学校		授業公開(14:20終了)				
川湯小学校	授業公開(14:05終了)		休憩・移動	開会式 全体発表 (弟子屈小学校体育館)	各部会 研究協議 (弟子屈小学校)	
川湯中学校	授業公開(14:10終了)					
養護 事務		養護・事務部会 研究協議(弟子屈小学校)		開会式 全体発表 (弟子屈小学校体育館)	各部会 研究協議 (弟子屈小学校)	

\* 13:00より、助言者・部会部長・司会者・運営者(養護部会については発表者も)による打ち合わせを、授業公開の部会は会場校にて、養護・事務部会は部会会場にて行います。

### 9 開会式次第

- 開式の言葉
- 主催者挨拶 釧路教育研究所長 湊 谷 美樹治
- 開催町歓迎挨拶 弟子屈町長 徳 永 哲 雄 様
- 祝辞 北海道教育庁釧路教育局長 鈴木 淳 様  
釧路管内町村教育委員会連絡協議会長 國 安 修 一 様
- 閉式の言葉

### 10 全体発表

- 町研発表 弟子屈町教育研究所研究部長 野 田 哲 史
- 釧路研発表 釧路教育研究所研究部長 大 島 健

11 申し込み 各町村でとりまとめの上、釧路教育研究所へ9月5日(水)までをお願いします。

12 その他 上履きは各自持参して下さい。

3 公開授業・各部会

部会名	会場校	授業者	学年学級	教科・単元名・題材名	助言者	記録者	運営者 司会者
適切な目標設定・ 学習評価の充実	弟子屈中	中村悠希 (弟子屈中)	3年B組	体育科 器械運動 跳び箱運動	釧路教育局指導主事 菅野裕介		釧研所員
学びの質の向上	川湯中	榑川湯中翔 (川湯中)	1年生	数学科 4章 比例と反比例 1節 関数	標茶町教育委員会指導室 長 蠣崎浩一		釧研所員
外国語・英語	川湯小	富岡昭年 (川湯小)	5・6年生	外国語活動 弟子屈町のPR	釧路教育局指導主事 佐々木慶典		釧研所員
道徳	弟子屈中	更科亮輔 (弟子屈中)	1年A組	3-(1)生命尊重(D-(19)) 「神様からの贈り物」	釧路教育局指導主事 田中陽一		釧研所員
特別支援教育	弟子屈小	吉野祐介(弟子屈中) 未定(弟子屈小) 藤原佳澄(川湯小)		自立活動 他 ※当日は授業の様子を撮影したのを見ます。	弟子屈町教育委員会指導 室 長 須藤光秋		釧研所員

部会名	会場校	発表者	発表テーマ	記録者	運営者 司会者
養護	弟子屈小	各町村	よりよい保健活動の充実を目指して ～小・中・高及び関係機関との連携～ ※ 討議の柱についてグループ討議を行います。		釧研所員
事務	弟子屈小	各町村	「日常業務の実践交流」 ～各町村教育研究所事務部会 研究・活動内容の交流～		釧研所員

■公開授業の指導案、部会資料等については、当日会場にて配布となります。

※『せんけんweb』からのダウンロードはありません。

10【各部会の討議の柱】（弟子屈町研設定）

部会	討 議 の 柱
適切な目標設定・学習評価の充実	<p>○適切な目標設定がなされ、児童生徒と目標を共有することができていたか。</p> <p>○教師や児童生徒による学習評価は充実していたか。</p>
学びの質の向上	<p>○見方・考え方を働かせる手立ては有効であったか。</p>
英語・外国語	<p>○外国語・英語を使用する目的・場面・状況を意図的に設定した活動の工夫</p> <p>○コミュニケーション活動、教科書本文の効果的な活用</p>
道 徳	<p>○児童生徒がねらいにせまるための手立ては適切であったか</p>
特別支援	<p>○一人一人のよさや可能性を効果的に伸ばさせるための支援や指導について</p>
事 務	
養 護	<p>①小・中・高その他関係機関と連携している保健活動の取り組み</p> <p>②保護者を巻き込んだ保健指導の工夫</p> <p>※ 上記①②について、グループに分かれて協議します。</p>